

**製品名: WDR1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02771**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.55mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 66 kDa; Observed MW: 66 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	WDR1
別名	AIP1; NORI-1; HEL-S-52
遺伝子 ID	9948
SwissProt ID	O75083
免疫原	ヒト WDR1 の合成ペプチド

**背景**

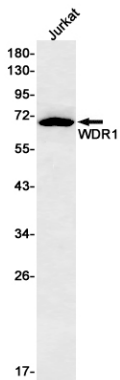
ADF/コフィリンファミリータンパク質と連携してアクチンフィラメントの分解を誘導する (PubMed:15629458)。コフィリンを介し

たアクチン切断を促進する。細胞質分裂に関与する。ラメリポディア膜突起の制限による走化性細胞遊走に関与する (PubMed:18494608)。心筋サルコメアの組織化に関与する。心筋細胞の増殖と維持に必要。巨核球の成熟と血小板の剥離に関与する。濾胞上皮発達中の平面細胞極性 (PCP) の確立と PCP 中の細胞形状変化に必要であり、この機能は CFL1 および/または DSTN/ADF との連携に関与していると思われる。皮質張力の生成/維持に関与する。上皮頂細胞接合部の組み立てと維持に関与し、接合部周囲のアクトミオシンベルトの組織化に役割を果たします (PubMed:25792565)。

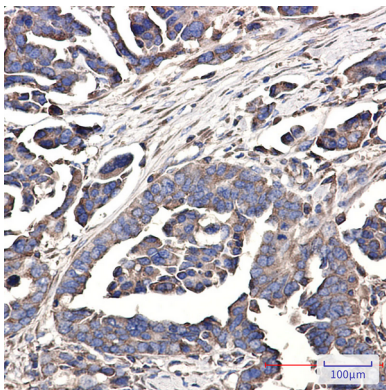
## 研究分野

シグナル伝達

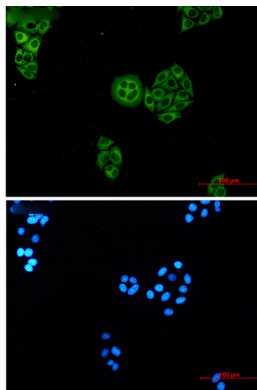
## 画像データ



WDR1 抗体を使用した Jurkat 溶解物中の WDR1 のウエスタン プロット分析。



WDR1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胆管癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



WDR1 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の WDR1 (緑) の免疫細胞化学分析